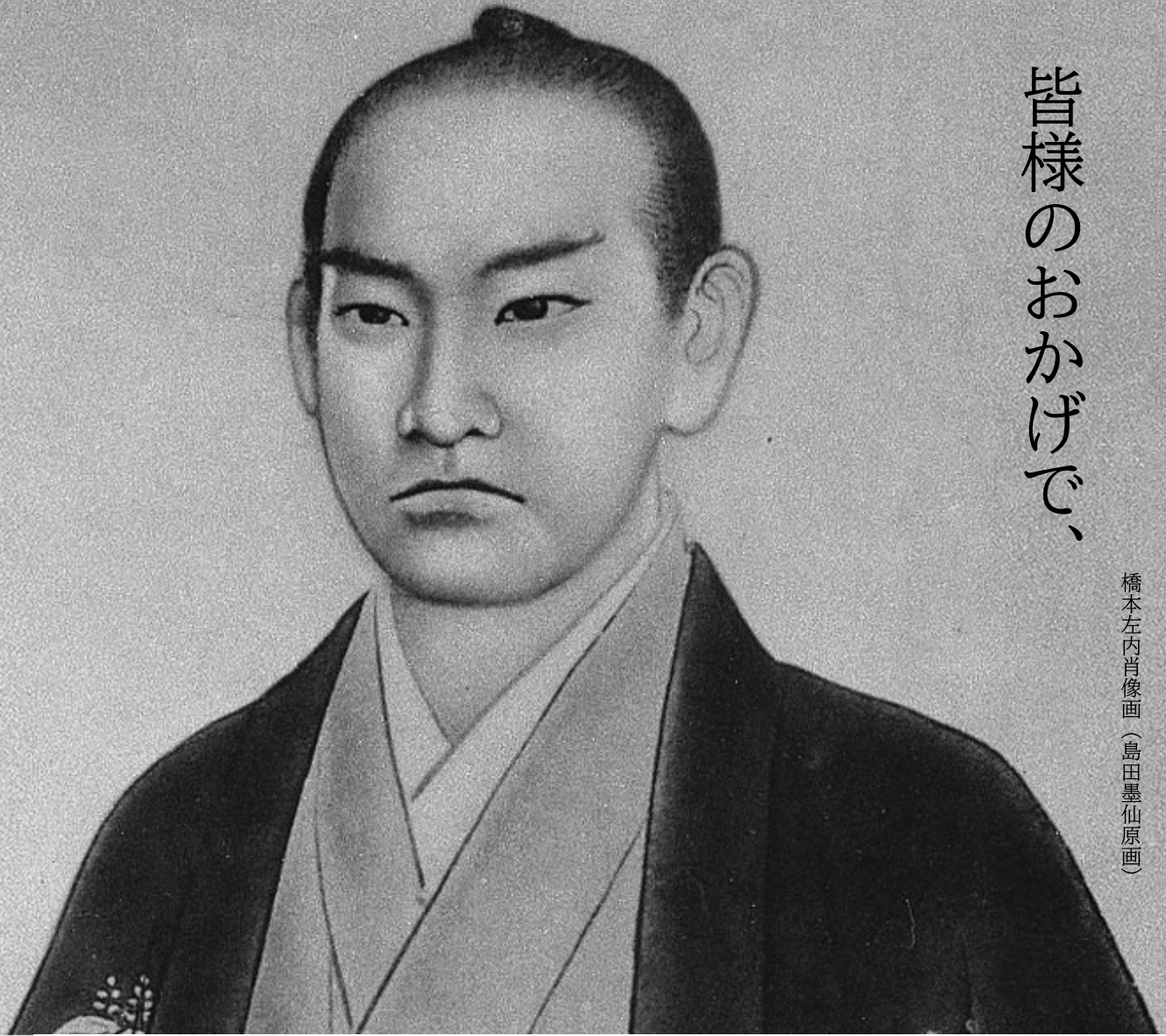


皆様のおかげで、

福井の未来が見えましたぞ。



橋本左内肖像画（島田墨仙原画）

スマホでアンサー！

令和3年度  
ふくeアンケート

結果反映状況

令和4年3月25日

ありがとうネ！



# 目 次

調査の概要 .....	1
結果反映状況 .....	2
◆自転車の利用について .....	2
◆福井市の広報について .....	3
◆人権について .....	4
◆たばこのポイ捨てについて .....	5
◆スポーツについて .....	6
◆居住の意向について .....	7
◆選挙の投票について .....	8

## 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、市の実施する事業について市民のさまざまな意見をお聴きし、施策立案の参考とするため、インターネットを利用して迅速に市民のニーズを把握することを目的に実施した。

2 調査期間 令和3年10月19日（火）から11月30日（火）まで

3 調査対象 福井市内に居住するか、通勤・通学する18歳以上の人

4 調査方法 福井県電子申請サービス「ふくeねっと」を利用したインターネット調及び調査票（紙媒体）による調査

### 5 調査項目

（1）回答者の属性（性別、年齢、居住ブロック）

（2）自転車の利用について（5問）

（3）福井市の広報について（6問）

（4）人権について（4問）

（5）たばこのポイ捨てについて（2問）

（6）スポーツについて（5問）

（7）居住の意向について（2問）

（8）選挙の投票について（5問）

6 回答者数 771人

・インターネットによる回答 757人

・調査票による回答 14人

### ◆ 調査の目的

市民の自転車利用の方向性を把握するため、調査を実施しました。

### ◆ 調査結果の概要

- 「あなたは、自転車を日常どの程度利用しますか」という設問に、「ほとんど利用しない」、「全く利用しない」と答えた方の合計は全体の62.9%となっています。  
令和2年度の福井市民意識調査においても同様の傾向が出ており、自転車の利用がまだ進んでいないものと考えています。  
また、地区別にみると、中心市街地から遠い地区では利用頻度が低くなる傾向が見られました。
- 「あなたが自転車を利用する目的は何ですか」という設問に、「買い物」と回答した方が40.4%、次いで「通勤」が34.9%、「レジャー」が26.8%となっています。
- 「あなた、福井市がスマートフォンやICOCAで決済できる無人式レンタサイクルを導入した場合、利用してみたいと思いますか」という設問に、「ぜひ利用したい」、「機会があれば利用したい」、「料金によっては利用したい」と答えた方の合計は全体の55.6%となっています。  
この結果から、レンタサイクルの利便性向上が必要と考えられます。
- 「あなたは、さらに自転車利用を促進するために、どのような取組が重要だと思いますか」という設問に、「自転車通行帯の整備」と答えた方が72.0%となっています。  
平成27年及び令和2年に実施した市民意識調査の同じ設問でも「自転車通行帯の整備」という回答が最も多くなっています。  
この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

#### ★ 自転車通行帯の整備

現在策定している「福井市自転車利用環境整備計画」でも「自転車通行空間の整備」を重点施策に掲げています。今後、自転車活用推進計画の策定の際にも重点施策として取り組みます。

#### ★ 無人式レンタサイクルの導入

現在実施しているレンタサイクルについて、利用者の利便性向上を考え、24時間いつでも誰でも手軽に利用できるシェアサイクルシステムを令和4年度に導入します。



## ◆ 調査の目的

ホームページやSNSなどのデジタル媒体が行政情報の入手先としてどの程度の割合を占めているのか、また、「広報ふくい」の閲読頻度、「ふくチャンネル」の視聴頻度を把握し、今後の情報発信のあり方を検討するために調査を実施しました。

## ◆ 調査結果の概要

○ 「あなたは、福井市の情報をどこから得ていますか」という設問に、「広報紙(冊子)」と回答した方が最も多く74.3%、次いで「ホームページ」が45.9%でした。

年代別にみると、年代が高くなるほど「広報紙(冊子)」と回答した方の割合が高く、20代では「ホームページ」が「広報紙(冊子)」と並び、最も高い割合となっています。

ホームページ以外のデジタル媒体では、「SNS」が30.6%、「広報紙(デジタル)」は13.1%となっており、今後さらに周知を図る必要があります。

自由意見においては、「ホームページを分かりやすくしてほしい」といった意見やデジタル化の推進を求める意見がありました。

また、同じ設問に、「テレビ・ラジオ」と答えた方の割合が32.2%となっており、テレビ・ラジオも情報源として有効と考えられます。しかし、「ふくチャンネルをどのくらいの頻度で見ますか」という設問に、「ほとんど見ない」、「全く見ない」と答えた人の割合が76.3%となっています。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

### ★ ホームページのリニューアルに向けた検討

令和5年度にホームページをリニューアルし、利用者が迅速に情報を取得できるよう改善します。

### ★ SNSなどのデジタル媒体で発信する情報の充実

デジタル媒体を活用する重要性を踏まえ、防災やワクチン接種の案内など、福井市LINE公式アカウントや電子書籍リーダー「カタログポケット」で発信する情報の充実を図ります。

### ★ 「ふくチャンネル」の認知度向上への取組

「ふくチャンネル」の認知度を向上させるため、より多くの方に視聴していただけるよう魅力的な番組づくりを進めるとともに、他の広報媒体によるPRに努めます。

## ◆ 調査の目的

人権に対する市民の意識を把握するため、調査を実施しました。

## ◆ 調査結果の概要

- 「あなたは人権問題に関心がありますか」という設問に、「大いに興味がある」、「少し興味がある」と回答した方の合計は全体の 69.7%でした。年代別で見ると、「大いに興味がある」「少し興味がある」と回答した人の割合は 60 代以上で高くなりました。
- 「あなたが関心のある人権問題は何ですか」という設問に、「子ども」、「インターネットによる人権侵害」がともに 47.7%と最も高く、次いで「障がい者」46.7%、「女性」44.8%となっています。  
性別で見ると、男性は「インターネットによる人権侵害」が、女性では「女性」が最も高い割合となりました。
- 「あなたは、あなたの人権が侵害されていると感じたことはありますか」という設問に、「ある」と回答した方の割合は 15.7%でした。年代によって大きな差はなく、どの年代でも人権が侵害されたと感じた人がいることがわかりました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

### ★ 人権尊重意識の醸成のための取組を進める

令和4年度からスタートする第八次福井市総合計画の施策の一つとして、「人権教育・啓発に取り組み、一人ひとりの多様性や人権が尊重される地域社会の実現を図る」ことを掲げています。

今後、人権尊重意識醸成のため、人権課題に関する講演会、研修会等の啓発活動を進めます。



### ◆ 調査の目的

中心市街地におけるたばこのポイ捨て及びポイ捨ての原因となる路上喫煙の現状を把握するため、調査を実施しました。

### ◆ 調査結果の概要

- 「あなたは、中心市街地(JR福井駅東西広場、市役所・県庁、福井西武周辺)の路上や広場でたばこのポイ捨てやその吸殻を見たことがありますか(複数回答)」という設問に、中心市街地では「JR福井駅東西広場で見た」と答えた方が 25.3%と最も高くなっています。
- 「あなたは路上喫煙(喫煙場所での喫煙は除く)を防ぐのに、どの方法が効果があると思いますか(複数回答)」という設問に、「市全域での路上喫煙の禁止」と回答した方が 44.7%と最も高く、次いで「喫煙場所の見直し」が 39.7%、「喫煙場所の掲示・路上喫煙を抑制する看板の設置」が 37.4%、「喫煙者に対する啓発活動」が 36.3%となっています。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

- ★ JR福井駅前での啓発活動など、路上喫煙の抑制につながる施策の検討を進める  
たばこのポイ捨て、吸殻が比較的多いJR福井駅前を中心としたポイ捨て防止の啓発活動など、路上喫煙の抑制につながる施策を検討します。

### ◆ 調査の目的

福井市スポーツ推進計画【改訂版】(令和2～5年度)の進捗状況を確認するため、調査を実施しました。

### ◆ 調査結果の概要

○ 「あなたは、日常生活で運動(徒歩、自転車移動を含む)をしていますか」という設問に「ほぼ毎日」、「週に1～2回程度」と答えた方が 56.0%(福井市在住者のみ)となりました。

福井市スポーツ推進計画【改訂版】では、県民意識調査による同様の指標を令和5年度に65.0%とすることを目標にしています。

○ 「あなたは、運動やスポーツをしたいと思いませんか」という設問に、「したいが、できない」と答えた方が 45.7%と最も多くなっています。

○ 「あなたは、どのような条件を整えば運動やスポーツをしますか」という設問に、「個人の条件(体調、友人、時間など)」と回答した方が 54.7%と最も高くなっています。

○ 「あなたは、2024年春開催予定のフルマラソン「ふくい桜マラソン」に参加したいですか」という設問に「参加したくない」と答えた方が 54.7%と最も多くなっています。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みました。

#### ★ 福井市スポーツ推進審議会において活用

令和4年1月25日に開催した福井市スポーツ推進審議会において、参考資料として、調査結果を活用しました。

新型コロナウイルスの感染状況によっては、従前のスポーツ活動が難しい場合もありますが、内容を工夫しながら、各種スポーツ大会や教室を開催するなど、市民がスポーツ活動に参加する機会の提供に努めます。

また、福井市スポーツ推進計画【改訂版】の計画期間は令和5年度までとなっていますので、国や県のスポーツ基本計画の策定状況を踏まえながら、令和6年度以降を期間とした計画の策定を見据え、調査や分析を継続します。

#### ★ フルマラソン大会開催準備事業への活用

福井県等と準備を進めている、フルマラソン大会「ふくい桜マラソン」の実施計画策定の過程において、本調査の結果は有益なデータとなりました。

令和4年度は、予算規模を大幅に拡大した上で、準備委員会を実行委員会に移行し、関連イベントや広報を本格化します。引き続き、マラソン大会に対する市民の機運醸成を意識しながら、取組を進めます。





### ◆ 調査の目的

「第2期福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の基本目標の1つである「時代に合った住みよさ一流のまちづくり」の達成状況を継続的に把握するため、調査を実施しました。

調査結果は、8月に開催される地方創生に関する本部会議において報告し、今後の施策展開を検討する参考とします。

### ◆ 調査結果の概要

- 「あなたは、これからも福井市に住み続けたいと思いますか」という設問に、「住み続けたい」、「事情が許せば住み続けたい」と回答した方の合計は全体の89.5%でした。「第2期福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に成果指標として掲げている、令和6年度に90.0%とする目標には達していませんが、平成29年度88.5%、平成30年度87.2%、令和2年度87.0%という市民意識調査の結果も踏まえ、おおむね順調に推移していると考えています。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

#### ★ 地方創生に関する本部会議において報告

令和4年8月に開催される地方創生に関する本部会議において、今回の調査結果を報告し、今後の施策展開を検討する参考にします。

「第2期福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の計画期間は令和6年度までとなっていますので、目標を達成できるよう調査や分析を継続します。

#### ★ 北陸新幹線福井開業に向けたまちづくりの推進

県、市、商工会議所からなる「県都にぎわい創生協議会」において、これからのまちづくりを描く「グランドデザイン」の策定を進めるとともに、福井駅東口広場に恐竜の象徴的なモニュメントを設置する「おいでよ！福井駅恐竜プロジェクト」を開始するなど、2024年春の北陸新幹線の福井開業に向けたまちづくりを推進します。



### ◆ 調査の目的

有権者の投票所への交通手段や選挙の際に参考になっている媒体を調査し、今後の選挙における投票所の場所や効果的な広報手段を検討するため調査を実施しました。

### ◆ 調査結果の概要

- 「あなたは、通常どのような交通手段で投票所に行っていますか」という設問に、「自動車」と回答した方が 59.2%、「徒歩」と回答した方が 32.4%となっています。これは、平成29年度に実施した市民意識調査の同様の設問でも同じ傾向となっています。
- 「あなたは、期日前投票を利用したことがありますか」という設問に、「ある」と答えた方が 81.5%と、多くの方が期日前投票を利用したことが分かりました。
- 「あなたは、候補者用のポスター掲示場を投票の参考にしていますか」という設問に、「参考にしていない」と答えた方が 62.2%と最も多くなっています。
- 「あなたが投票するときに、一番参考にしているものは何ですか」という設問に「テレビ・新聞」と答えた方が 52.0%と最も多く、次いで「選挙公報」が 16.5%となっています。一方、「ポスター掲示場」は 0.9%となっています。これらのことから、「テレビ・新聞」、「選挙公報」が主に投票の参考にされていること、「ポスター掲示場」の設置場所に更なる工夫が必要であることが分かりました。

この調査結果を踏まえ、以下のことに取り組みます。

#### ★ 投票所の設置場所の検討

自動車で投票所に来る方が多いことから、今後の投票所の変更の際は、できるだけ使いやすい駐車場を備えた施設に設置するよう取り組みます。

#### ★ ポスター掲示場の設置場所の検討

現在、市内に684か所のポスター掲示場を設置していますが、今回の結果を踏まえ、適正な設置場所や設置数を検討します。